研究主題 様式2-1

# 共に学び、高め合い、 挑戦する淮園っこの育成

# 大分県九重町立淮園小学校

# Plan:取組時の課題と計画

## 1 取組時の課題

- ◆敏捷性や持久力を要する運動の値が低い
- ◆運動量の個人差が大きい
- ◆高学年に睡眠時間の短い児童がいる

# 2 取組の計画

- ① 「目標を持って挑戦させる」
  - ○努力の足跡がわかる取組
  - ○短距離走・持久力を高める取組
- ② 「生活習慣の確立」
  - ○児童会・PTA との取組

# Do:実践内容

# 1 淮園っ子パワーアッププロジェクト

- (1) 1日1回、運動しよう
  - ① 休み時間にできる運動遊びの紹介
  - ② 昼休み体育館使用と学級全員遊び

#### (2) みんなで取り組もう

- ① サーキットで3分間トレーニング (ダッシュ含む)
- ② マラソン大会に向けた中休み5分間走
- 3 縄跳び大会の持久とびにむけて (ふりかえりシート活用)

#### (3) 生活習慣の確立にむけて

①親子で取り組む「体温・朝食・就寝時間チェック」 ②保健給食委員会からの発表

#### (4) ふれあい祭り 親子で運動

- ① 敏捷性を高める「足じゃんけん」
- ② 調整力「リズムトレーニング」
- ③ 入眠前の「かんたんヨガ」
- ④ 「親子でボッチャ」

# 2 九重町体育実技講習会

# (1) 公開授業

3・4年 とび箱運動「発展技に挑戦しよう」

#### (2) 講義

体育の授業で運動量確保のための工夫

- ① 前時のおさらいプラス1
- ② 説明は休憩時間に
- ③ 毎時間後半に既習内容のゲームを

## (3) 実技

九重町の体力課題克服に向けた運動の紹介

- ① 準備の要らないサーキット
- ② 短距離走と持久走の工夫
- ③ 瞬発力を高める運動

全校児童数	31名 (男子 13名 女子 18名)					
全クラス数	5	教職員数	12名			
体育専科教員訪問学校数						5校
訪問校	(毎週)野矢小					
	(隔週)野上小・南山田小・飯田小・東飯田小					
体育専科教員名			酒井 静女			

## ●工夫したこと

## 1 跳び箱の「頭はね跳び」の段階的指導

- (1) 主運動につながる準備運動
  - ○1年生から体重を腕で支持できる運動をさせる
    - ・肋木さかだち・カエルの足うち・カエル倒立
    - ・背支持倒立・ブリッジ・クマ歩き・タイヤ跳び
    - 馬跳び・カエル跳び・うさぎ跳び

#### (2) 自分に合った場の設定

- ○主運動の練習も段階的に
  - ・マットで前転・伸しつ前転 → 高さを上げる
  - フォーム跳び箱→マット付き跳び箱→跳び箱
  - ブリッジ→ゆりかごからブリッジ→前転から ブリッジ→重ねたマットでブリッジ→跳び箱で
- ○跳び箱の高さに加え、踏切と着地も選べるように
  - ・跳び箱と同じ高さ→1段ずつ下げる→踏切板
  - ・ウレタンマット→マット3枚重ね→マット1枚
- ○マークあり→マークなし
- ○短い跳び箱の横置き→縦長置き→長い跳び箱

#### 2 開脚跳びなどなら

- ○先輩の技を動画で見る
- ○遅延再生で自分の技を見る
- ○技のポイントをしぼって練習する
- ○技ができたら調整板の個数・助走距離・着地の足 ピッタリ賞などに挑戦する

#### Check:取組の成果

サーキットや5分間走を重ねることで運動を苦手だと 感じている子どもも運動に慣れ、自信を持って取り組む 姿が見られた。跳び箱ではどの技でも主体的に自分に合った場や運動を選んで、仲間と励まし合いながら練習す る姿が見られた。

生活習慣を改善する取組を保護者と共同でしたことで、2学期末アンケートの数値に改善が見られた。

## Action:今後の課題

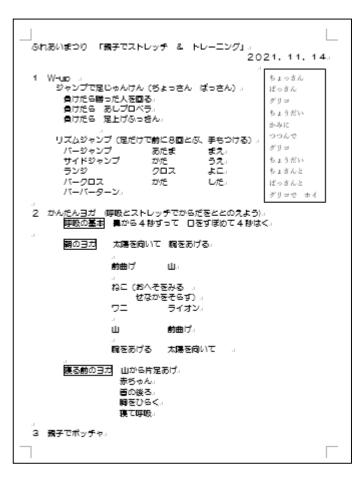
運動量の個人差を減らす

- ① 休み時間の運動を増やす
- ② 家庭での運動時間確保を促す

#### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ストレスが減る
- ・笑顔が増える
- 自信がわいてくる
- ・積極的になる
- ・学校全体が明るくなる

#### 九重町 体育実技講習会 2021, 11, 18 1 授業に流れをつくり、運動量を確保しよう ① 1日に新しく指導することを1個にする。前時のおさらいプラスワン 個人練習 → チーム練習 → ゲーム → ふりかえり (めあての内容によって「めあて」の確認を入れる時間はその時々でちがう) ゲームで頑張ってほしいことが「めあて」なら、それを投業の初めに言われても・・・ ② 説明は子どもの休憩時間程度に入れる 短い説明をして動かす。途中で条件を一つずつ増やす。 ③ 毎時間の後半には、習ったことでできるゲームを入れよう 練習だけでは面白くない。でもゲームに負けたら次回の練習を頑張れる。 ④ 集団行動は必要なときに少しずつ ・並び方も「回れ右」もゲームにする(班対抗・右半分 VS 左半分) 2 体力テストからわかる九重町の課題 小学校 反復機跳び・長座体前屈・50m走 中学校 長座体前屈・上体起こし ① 準備のいらないサーキットを、各学校の施設に合わせて短時間でさせる 例) <u>推園小の外バージョン</u> \*苦手な児童に声をかけて運動ができるようにする 鉄棒ダンゴ虫 or さかあがり ブランコまわりの横渡り 上り棒 階段昇降 スキップ うんてい ジャングルジム サイドステップ けんけん 平均台 体育館パージョン ももあげ ストライド走 垂直ジャンプ ペットボトル振り 尺取り虫 ワニ歩き かえるとび 反復横跳び けんけん 肋木のぼり or 腹筋 ② 親子で運動週間 親子ふれあい祭りで運動を紹介(別紙) 体力テスト前には体育でしたことを容疑にする X よーロ スタート O よーロ ドン! 3 楽しく「走る」を強化する ① 鬼ごっこを授業の導入にする ・ねことねずみ ・・・佐伯小学校 児玉先生の実践より (ダッシュVer・80m走Ver・2分間Ver) ② ストップウォッチでやる気アップ ・持たせて走らせる「ピッタリ走」 (3/4・30 秒・2周~ふやす) ③ 持久走の練習のタイムとりはタブレットで (周国ならラスト1周で ほうしをとる) 4 「とびばこ運動」の指導計画例(別紙)



#### 公開授業 とび箱運動





#### ふれあい祭り 親子でストレッチ&トレーニング



